



令和7年度国立市市民表彰 社会福祉功労



藤 真秀氏

平成26年より国立分区の保護司として、犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支え、更正保護活動に取り組んでいます。関係機関と連携しながら、一人でも多くの方が更生することを願って、日々活動をしています。

ともに寄り添う力で“未来をひらく” 保護司の活動

保護司について教えてください

保護司は、犯罪や非行をした人が地域社会の中で円滑に立ち直れるよう、定期的な面談を通じて相談や指導を行うとともに、生活環境や就労状況などを確認し、関係機関と連携しながら更正を支える役割を担っています。

保護司にしていきたいきっかけを教えてください

保護司を引き受けたいきっかけは、公私にわたり大変お世話になっていた方からお声がけをいただいたことでした。突然のことです戸惑いもあり、自分に務まる役割なのか悩みましたが、地域社会の一員として、人の立ち直りを支える大切な活動であることを改めて考える機会となりました。多くの方に支えられてきた自分だからこそ、今度は少しでも地域に恩返しができればとの思いから、最終的に保護司としての役割を引き受けする決意をしました。

活動している中で意識している事を教えてください

活動する中で最も大切にしているのは、対象となる方と信頼関係を築くことです。そのために、まず相手の話をよく聴き、考えや気持ちを受け止める姿勢を心がけています。自分の価値観だけで判断したり、すぐに否定したりす

ることはせず、一人ひとりの置かれている状況や背景に目を向けることを意識しています。対話を重ねる中で、相手が自ら前向きに歩み出せるよう寄り添い、必要に応じて関係機関と連携しながら支援につなげることが重要だと考えています。

活動を通して印象に残っていることを教えてください

保護司として活動を始めたばかりの頃に担当した方との出来事が、今でも強く印象に残っています。その方は保護観察期間を無事に終えられましたが、しばらくしてから近況を伝えるために電話をくださいました。支援としての関りが終わった後も、自ら連絡をくださったことに、何とも言い難い安堵と喜びを感じました。社会の中で前向きに歩まれている様子を知り、寄り添い続けてきた時間が決して無駄ではなかったと実感するとともに、人と向き合うことの大切さを改めて心に刻んだ出来事です。

今後の保護司について教えてください

今後も保護司として、犯罪や非行をした人が地域社会の中で再び安心して生活ができるよう、一人ひとりに寄り添いながら立ち直りを支える活動を続けていき

たいと考えています。関係機関と連携し、地域の安全と安心に貢献できるよう努めていきたいです。
その他、ございましたらお願いします

保護司の活動は決して一人で行うものではなく、仲間同士で支え合いながら進めていく、とても温かな活動です。国立保護司会はアットホームな雰囲気のある会ですので、ご興味のある方には、ぜひ仲間として加わっていただけたら嬉しく思います。



▲『令和7年11月3日市民表彰式典』
表彰状授与の様子